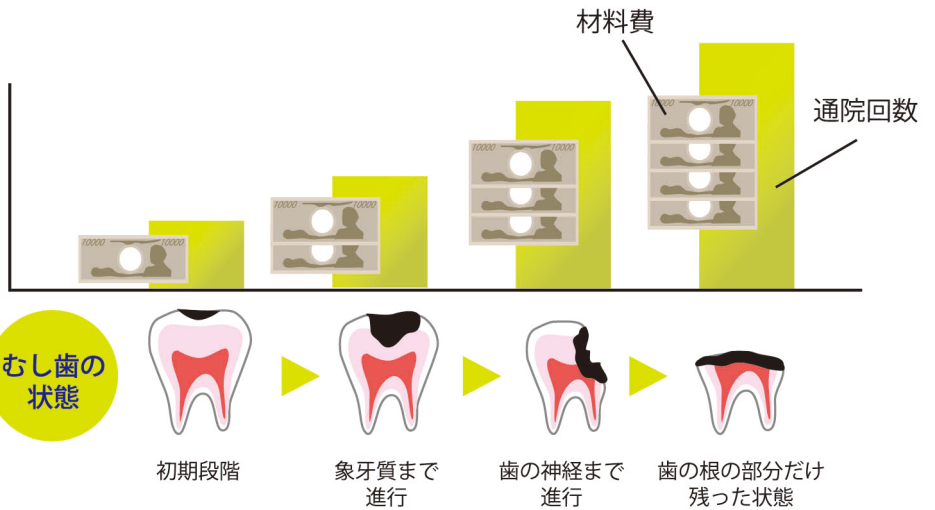


## 進行したむし歯ほど 治療費は高くなる

むし歯というのは初期の段階では症状を出さないの  
で、よっぽど見える場所がない限り気づかないことが  
多いものです。そのため、むし歯をなるべく初期に見  
つけるためには、定期的な健診が必要になってきます。



### 進行したむし歯は 治療の回数が増える

ごく初期のむし歯であれば、歯を削らず経過観察をするだけで済みます。また、ある程度進行したむし歯であっても、神経まで達していなければ2~3回で治療が終わります。ですが、むし歯が神経まで達すると、神経の治療が必要になり、治療が複雑化し通院回数も多くなるため治療費がかかります。



### 進行したむし歯は 使用する材料が高くなる

むし歯が小さければ、白いプラスチック樹脂を詰める程度なので材料費も安く済みます。しかし、むし歯が大きくなるにつれ、樹脂では噛む力に耐えられなくなるため、銀歯やセラミックといった頑丈な材料での治療が必要です。銀歯は保険適用なのでそれほど高くなることはありませんが、長持ちしないため、数年後に治療が必要となり、結果的には治療費がかさんでしまいます。セラミックの場合は自費になりますので高くなりますが、銀歯に比べて長持ちします。

## あまり見えない奥歯の被せ物にも選ぶポイントがあります

口を大きく開いて笑った時などは、下の奥歯の被せ物が見えることがあります。「奥歯だから見た目は気にならない」という方もいると思いますが、銀歯とセラミックでは見た目以外に、次のような違いがあることも被せ物を選ぶ際は考えることが大切です。



口を開いたとき  
銀色が目立つ

銀歯(保険)

セラミック  
ジルコニア

白いから口を開いても  
被せ物とバレない

金属成分が溶け出し  
金属アレルギーの原因に

金属アレルギーの  
心配がない

表面に小さな傷につき  
汚れや歯垢が溜まりやすい

汚れや歯垢が  
付きにくく衛生的

劣化や変形で歯との隙間が  
むし歯になりやすい

劣化や変形の  
心配がない

